

「イチゴ高設栽培システムの標準仕様の策定」 公開討論（イチゴ高設栽培標準化フォーラム）

宮城県沿岸部のイチゴ産地は、東日本大震災による津波で大きな被害を受けましたが、懸命な復旧活動により新たなイチゴ生産が始まっています。このような中、多くの施設では高設栽培による生産方式がとられており、いろいろな課題や展望が考えられます。そこで、平成26年12月12日に宮城県農業・園芸総合研究所において本フォーラムが開催され、県内の生産現場の状況にふれつつ、生産性向上につながるイチゴ高設栽培の標準的な仕様とはどのようなものか議論しました。

<主な内容>

- 1) 宮城県農業・園芸総合研究所から、宮城県亘理町、山元町のイチゴ団地における復興と支援の状況について報告
- 2) 先端プロ「イチゴ高設栽培システムの標準仕様の策定」の成果について報告
- 3) イチゴ高設栽培の研究者、技術者、生産者の8名のパネリストから、主要なイチゴ高設栽培の開発の経緯や特徴、普及状況等について紹介
- 4) イチゴ高設栽培システムに求められる機能や仕様、生産性向上を実現する基本設備、期待される技術開発などについて、パネリストと会場の参加者で討論

